

岐大チーム 金型

設計

製作

金賞

学生グランプリ

環境に優しく精度◎



昨年度の岐阜大四年生十五人の実習チームが、四月に開かれた学生金型グランプリのプレス用金型部門で、金賞と産業デザイン賞を受賞した。環境への優しさと精度の高さが評価された。

日本金型工業会主催で、真ちゅう板から縦十ミリ、横二十ミリ、高さ八ミリ、厚さ〇・二ミリの箱を造る金型を設計・製作する技術を競つ

た。環境に優しいことも評価の対象。岐阜大では昨年十月からの半年間、当時の四年生が機械工学科の実習で取り組み、応募した。

岐阜大チームは、真ちゅう板に切れ込みを入れ、箱型にし、切り取るなどの八工程を一つの金型でできるよう設計。切断面の精度を高めるため、プレス機の上下動を横方向に変えて切断する工夫も加えた。プレス用金型部門の出場三大学の中で、製造に必要なエネルギーが小さく、箱の精度も高いことなどが評価された。

十九日には、チーム代表の河瀬彩未さん、紀藤優介さん、小栗理史さん、いづれも二ミ、岐阜大学院一年生が吉田和弘学長に受賞を報告。吉田学長は「ものづくりは岐阜大の売り。受賞を非常に誇りに思う」とたたえた。河瀬さんは取り組みを振り返り、「製造の全体の流れを知ることができた。将来、自動車部品の製造で新しい技術を開発するのに生かしたい」と話した。

(名倉航平)

吉田学長(右)に受賞報告に訪れた
(左から)小栗さん、紀藤さん、
河瀬さん。岐阜市柳戸の岐阜大で